

2023年3月2日

加賀事業所内にて食品機械新工場増設の地鎮祭を実施
主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制強化に加え
チルド米飯や惣菜といった新規食品加工分野へ事業領域拡大

株式会社ソディックは、3月1日（水）に「加賀事業所（石川県加賀市宮町）」内にて、食品機械新工場増設の地鎮祭を実施しました。

地鎮祭には、宮元 陸加賀市長や稲垣清也加賀市議会議長など地元関係者を来賓に迎え、ソディックからは専務取締役 塚本英樹をはじめ当社関係者、工事関係者など約50名が列席し、工事中の安全を祈願しました。

食品機械新工場は、主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制強化に加え、新たな食品生産加工機械分野に事業領域を拡大していきます。また、新工場増設に合わせて既存工場も改修、米飯製造システムの組立エリア、ショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張いたします。

なお、新工場は、2023年3月着工、2023年11月完成予定で、既存工場改修は2023年12月着工、2024年5月完成予定です。



当日の会場の様子



穿初め（うがちぞめ）を行う塚本専務

■食品機械新工場増設の背景と目的

加賀事業所内の食品機械工場は、生產品目として主力の製麵機、米飯製造システムに関連するミキサー、圧延機、茹槽、水洗槽、蒸機、殺菌装置、米飯装置といった多岐にわたるユニットを製造。付帯設備として事務所、研究室、ショールーム、資材倉庫などがあります。

現状の課題として、大規模な製麵機や米飯製造システムは、工場面積の制約上、顧客先に納入設置後に最終動作確認となるケースが生じていたこと、また米飯製造装置と製麵機の茹水洗槽といった大型ラインが必要となる生産が並行して行えないなどがあります。

さらに、ショールームが狭く販売促進活動に支障が生じる、生産台数に対し購買エリアが狭く部品保管場所が不足、機械完成から出荷まで製品を仮置きするスペースが無く工場外に倉庫を借りることでの保管経費や運搬作業負担の増加といった様々な解決すべき課題がありました。

弊社では、食品機械部門の事業計画として2026年度売上135億円を掲げており、同目標達成に向け、今回、新工場増設と既存工場改修を行うことを決定、不足している組立エリアおよびショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張することとしました。そして、主力の製麵機と米飯製造システムの生産体制強化に加え、チルド米飯、惣菜、製菓等の生産加工機械分野にも事業領域を拡大していきます。

なお、加賀事業所内食品機械工場の従業員は、地元雇用を中心に昨年度より増員をスタート、将来的には50人増員する予定で、地域での雇用創出にも貢献してまいります。

弊社では、引き続き国内外で増加が見込まれる食品機械事業の需要に対し、十分な供給能力を確保し、海外の食品機械生産拠点である中国・厦門工場とともに、供給体制をさらに強化していく所存です。

■食品機械新工場増設の概要

(1) 所在地	株式会社ソディック 加賀事業所内 石川県加賀市宮町カ 1-1 ※加賀事業所内の既設食品機械工場（第11工場）西側
(2) 工場面積	建屋外寸/延床面積： 100m×42m / 4147.8 m ² （内トラックヤード 615.6 m ² ）
(3) 建設費用	約 11.7 億円を予定 ※既存工場改修も含む
(4) 生產品目	食品機械
(5) 建設計画	新工場： 2023年3月着工 2023年11月完成予定 既存工場改修：2023年12月着工 2024年5月完成予定

建築主：株式会社ソディック 代表取締役社長 古川 健一
設計監理者：清水建設株式会社
施工者：清水建設株式会社

【完成時の外観（イメージ）】

